

十日町市の
未来づくり！



十日町市長候補者

頒布責任者 / 上 村 福 治 十日町市馬場丁1664-丁
印刷者 / (株) 滝 沢 印 刷 十日町市本町2丁目325-2

あきひろ 明弘 ひぐち

子育てしやすい
まちづくり

「市民中心の十日町市」 実現のために

若者に魅力ある
まちづくり



若者世代のために

地元に残った若者に 自動車購入費支援など

若者の居場所づくり
若者のニーズに沿った
店舗等の誘致
「まねきねこ」や
「スタバ」など



子育て世代のために

制服や修学旅行、給食費の 負担軽減や無償化

子育て世代の居場所づくり
子育て世代のニーズで
レストランチェーンや
ファミレス等の誘致
※「丸亀製麺」オープン予定



買い物弱者のために

買い物が不便な地域に スーパーを誘致

小売店の撤退や運転免許
返納などによる
買い物難民のために
現在「新座・大井田」
「川西」地区など検討



働く世代のために

地域資源を利用した 企業誘致で所得の向上

信濃川水系の水利権を活用
JR東日本に求める
地域共生策を当地域
への電力提供や企業
誘致に



全世代のために

公共料金を減額して 暮らしを向上

市民生活に必要な外事業の
費用対効果を検証して
削減し「水道料金」など
公共料金に補填して減額



農業生産者のために

付加価値のある農産物の 推進で所得の向上

需要が高く高収益の「ワサビ」栽培と
「へぎそば」をコラボした特産品の開発
認知症効果期待の「シソ」栽培と
加工を組み合わせる6次産業化
※上記は「農研機構」の情報を基に
大学研究者が提案するものです



声を聞くために

市民モニター制度で市民の 意見を市政に反映

ITの活用で市民の声を簡単に素早く調査
市内の各地区に年齢や性別等
の異なるモニターを募集し、
新規事業への意見や、
これまで行われてきた事業を
市民目線で客観的な評価を得、
市政に反映



行政改革のために

市職員が個々の業務に 専念できる環境に改善

無意味な数値目標からの
解放と市民の視点に立った
成果の重視
忖度体質からの解放で
職員個々の能力を発揮し、
市民のための仕事に専念
できる環境に改善



次世代のために!

これまで十日町市を停滞
させてきた原因を全て払拭し、
若い世代が
思うように力を
発揮できる
土壌を構築



夢のある街づくり

送電鉄塔イルミネーション化

市内の送電鉄塔を
ライトアップして、
祭りやイベント時に
街を華やかに彩り、
市民の楽しみや
観光誘致に



明石の湯・介護施設に温泉の運び湯

松之山温泉や各地の
名湯を明石の湯や
介護施設に運び入れ
移動困難な高齢者の
楽しみや市民の憩い
の場を再生



これまでの活動と実績

30年以上に渡る妻有ショッピングセンターを中心とした下島の開発で商業施設を誘致し、若者や家族、市民の居場所づくりと併せて、1千人の雇用と数億円の固定資産税を生むなど、市に貢献してきました。

現在行っている事

下島に7階建て200室、大浴場やレストランを設備するホテル「ルートイン十日町」を誘致し、来年末のオープンに向けて準備を進めています。
また10年以上前から国の農業研究機関の情報を基に大学研究者と「付加価値の高い農産物」の研究開発を行い、併せて地域医療問題にも取り組んでいます。

樋口明弘プロフィール

ひぐち あきひろ
生年月日 1948年2月14日 生まれ
【経歴】
1966年 新潟県立十日町高等学校 卒業
【職歴】
1966年～1978年 株式会社樋口織物 常務
1978年～1980年 鈴木加工所 所長
1981年 千歳不動産 設立 代表
1994年～現在 在 有限会社千歳 設立 代表取締役
【公職】
2001年～現在 在 (社)地域経済総合研究所 理事
【資格】
宅地建物取引主任者・調理師・二級建築士
衛生管理士

事務所連絡先

十日町市の未来づくり

〒948-0036 十日町市川治820番地5
携 帯 090-3140-8120